

WEB オープンキャンパス Q&A ～英米言語文化学科～

Q. 英米言語文化学科の英語面接とはどのような形式で行うのですか？

A. 日本語面接の中で英語面接の時間も設けています。英語による質問に対して、英語で答えてもらう質疑応答形式です。

Q. 英米言語文化学科での英語での面接ほどの程度の英語のレベルが必要か知りたいです。

A. 面接官からの英語による質問に対して、英語で答えてもらう質疑応答形式です。そのため、まずは英語を聞き取る力が求められます。つぎに答える力が必要です。簡単な英語で表現して構いません。たとえ語彙力が十分でなくても、相手に伝えようとする意欲が大切です。面接官はゆっくりと話します。高校までの英語の授業で学んだ会話表現を身に着けていれば、それほど心配することはありません。

Q. 総合型選抜試験の英語面談ではどのような質問をされますか？

A. 英語面接は、日本語面接の一部として行われるので、それまでの面接の話題や話の流れにもよります。通常は、受験生自身に関することを質問されるでしょう。

Q. アドミッションポリシーや／試験内容などについて教えてください。

A. 冲国大の英米言語文化学科のホームページ (<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/eibe>) や「入試要項」に詳しい情報が掲載されていますので、そちらをご覧ください。

Q. 英米言語文化学科の他の大学に負けない魅力などがあれば教えてください。

A. 冲国大ホームページ (<https://www.okiu.ac.jp/admissions/movies>) に学科紹介の動画がいくつか掲載されており、実際に本学科で学ぶ学生たちの生の声を聴くことができるので、ぜひそちらをご覧ください。

Q. 留学している人は多いですか？また、どのような制度で留学しているのですか？

A. 本学科の学生は留学への関心が高く、実際に留学する学生も多いです。冲国大には交換留学制度があり、約一か月の短期プログラムと1年間の長期プログラムがあります。一方、大学の留学プログラムを利用せずに個人で留学先を見つけ、半年から1年間、休学して留学する学生もいます。1年生のときに先輩の留学体験談を聞く機会も設けられています。

Q. 科目の取り方について教えてください！

A. 大学では卒業に必要な単位数が決められていて、それを4年間かけて満たしていきます。科目には大きく分けて、所属学科で取るべき「専門科目」と、全学科の学生を対象とした「共通科目」があり、各科目に単位数が割り当てられています。学生は多様な科目群のなかから自由に科目を選択し、各自の時間割を組み立てます。

Q. 授業の様子や在学生の取っている授業について教えてください。

A. 大学では多様な科目群が用意されており、科目によって授業の様子も異なります。たとえば100人以上の大教室での講義もあれば、20人規模のゼミもあります。また、学生は各自の関心に応じて科目を選択するので、時間割の内容も様々です。カリキュラムの詳細については、まずは冲国大ホームページの学科紹介ページ、または『大学案内』をご覧ください。

Q. 入学する生徒は初めから英語を流暢に話せる人が多いですか？

A. そういう人のほうが少数です。各学生のレベルに応じてスキルアップできるように、英語の基礎科目はいくつかの少人数クラスに分かれています。たとえば Oral Communication という英会話力を鍛えるためのクラスでは、All English の授業を通して徐々に話せるようになっていきます。

Q. 英検を持っていない人でも合格することってありますか？／英検二級を持っているんですが、総合型選抜試験や推薦、一般入試に有利ですか？

A. 英検を受験し成果を収めていれば、それだけ英語学習にたいする意欲的な姿勢を示すことになります。その点は評価されるでしょう。ただ、実際に英検を持っているかどうかというよりも、学科のアドミッション・ポリシーにもあるように、「英検2級程度の英語力」を持っていることが望ましいです。日頃から英語を継続的かつ主体的に学んでいれば、その力は試験でもきっと発揮されるはずですよ。